

【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【2026 年越境 EC 交易会、広州で開幕 1,000 社超が出展、越境 EC の新たなチャンスつかむ】](#)

[【投資推進署、上半期の投資誘致額が 530 億香港ドル超に】](#)

【2026 年越境 EC 交易会、広州で開幕 1,000 社超が出展、越境 EC の新たなチャンスつかむ】



2026 年 6 月 16 日、中国（広東）－ RCEP 加盟国越境 EC 交流イベント及び中国（広州）越境 EC 交易会の開幕式が広州で開催されました。

今年の中国（広州）越境 EC 交易会（以下「越境 EC 交易会」）は、「対外貿易の新たな原動力・デジタルの新たな未来」をテーマに、50 社超の越境 EC プラットフォーム企業、全国約 40 の産業クラスター、200 社超の越境 EC サービス事業者、および 1,000 社超のサプライチェーン企業が広州・琶洲に集結し、延べ 5 万

平方メートル超に及ぶ規模での越境 EC 産業チェーン全体を網羅する一大展示会が繰り広げられました。展示会は 3 日間にわたり開催され、期間中には 30 回超のフォーラムイベント、ライブ配信、バイヤー向けビジネスマッチング会などが開催され、企業に対し最前線の実践的ノウハウや知識アップデートの機会を提供し、企業の海外展開能力を総合的に向上させることを目指しています。

関係者によりますと、広東省の越境 EC 輸出入規模は、2015 年の 113 億人民元から 2025 年には 6,230 億人民元にまで拡大しました。この 10 年間で 55 倍、年平均成長率 49.3%という伸びを示しており、全国に占める割合は 3 分の 1 を超え、その規模は引き続き全国首位を誇っています。

10 以上の新興市場プラットフォームが初めて集結

今回の展示会には、世界のプラットフォームリソースが集結しました。Amazon、Temu、SHEIN、TikTok Shop といった大手プラットフォームが軒並み出展したほか、Hainago、Wayfair など 10 以上の新興市場プラットフォームが初めて一堂に会し、その事業範囲は欧米、東南アジア、ラテンアメリカなどの地域に及んでいます。

初出展となる Trendyol プラットフォームは、トルコ、中東、北アフリカ地域をカバーしており、今回の越境 EC 交易会では「中東拠点の出店者募集」という看板を掲げ、大きな注目を集めています。

亦邦（深圳）国際物流有限公司の王哲輝ビジネスディレクターは次のように述べています。「最近、中東向けの物流が回復傾向にあることに注目しています。ホルムズ海峡での航行が妨げられた時期もありましたが、海運会社はフジヤイラ港などの港で積み替えを行い、迂回ルートを通じて高価値貨物の輸送を確保することができました。物流の所要時間とコストは大幅に上昇しましたが、中東は依然として中国製製品のサプライチェーンに大きく依存しています。」

AI エンパワーメントは、今回の越境 EC 交易会におけるホットな話題となっており、多くの業界関係者が、このテクノロジーが越境 EC にもたらす変革に期待を寄せています。

アリババの AliExpress（速売通）ブランド海外展開マーケティング担当者の楊逸氏は、次のように述べています。「AI は、今後 10 年間に於いて越境 EC 業界の主要なテーマの一つになる可能性があります。越境 EC は高い運営コストや人件費に直面しており、海外人材の確保も中国企業にとって大きな課題となっています。しかし、AI とプラットフォームの活用により、EC の各運営段階におけるコストを大幅に削減することが可能となります」同氏はさらに「かつて、トップレベルの越境 EC 企業でも、多くても 7~8 か国の主要市場しか運営できませんでした。しかし、AI を活用して従来の業務プロセスを体系化することで、より多くの国に迅速に展開し、コスト削減を実現しています。」と例を挙げて説明しています。

業界の AI 応用に対する高い関心を受け、今回の越境 EC 交易会では 6 月 17 日に「AI デー」が設けられ、AI ツールの活用、スマートな商品選定、デジタル運営などのテーマに関するセッションが行われ、海外進出企業に実践的な参考情報を提供します。

商務省次長の姚林氏は、次のように述べています。「広東省は、対外貿易、外資、アウトソーシング、対外経済、海外人材の『五外連動』を強化し、世界各国、特に RCEP 加盟国との越境 EC 協力を積極的に拡大し、高水準の対外開放を着実に推進し、良好な成果を上げています。広東省は、越境 EC の発展をより一層強力に支援し、世界の越境 EC 企業にさらなる発展の機会をもたらします」

「越境 EC+産業ベルト」が 対外貿易の新たな原動力を強化

現在、広東省は対外貿易大省、製造大省、イノベーション大省としての優位性を最大限に発揮し「越境 EC+産業ベルト」モデルの発展を加速させています。品質の向上、ブランドの強化、産業チェーンの拡充に引き続き注力し、売上 1 兆元規模の輸出産業クラスターをより多く育成するとともに、広く知られ、

知名度が高い「粵字号（広東ブランド）」をより多く創出し、越境 EC の発展により強固な産業基盤を提供していきます。

今回の越境 EC 交易会の大きな特徴の一つは、全国 20 以上の省（自治区・直轄市）が各地の特色ある産業クラスタを「連盟館」形式で一堂に集結させたことです。潮州の衛生陶器、中山の照明器具、陽江の金物・刃物類など、各地の強みを持つ産業が団結して出展しました。

広東貝科智能厨衛有限公司のマーケティングディレクターである陳洽冲氏は、潮州産業クラスタの出展企業代表として、次のように感慨深げに語りました。「今年で 2 回目の出展になります。潮州館での出展は、地元政府による地元企業への支援を象徴しており、この展示会を通じて多くの優良顧客と接点を持つことができました。越境 EC 交易会を訪れる顧客は、非常にターゲットが明確です。」

衛生陶器製品の海外展開における競争力について、同氏は次のように述べています。「現在、市場には製品があふれています。海外市場を開拓するには、まず品質が確かでなければならず、同時にサービスも充実させる必要があります。当社は輸出に必要な認証をすべて備えており、自社独自開発による差別化された製品にこだわり、クロスボーダーのパートナー企業により多くの選択肢を提供しています。」

越境 EC 交易会が構築したマッチングの架け橋を活用し、多くの製造元も海外市場における新たな突破口を積極的に模索しています。珠海征途打印耗材有限公司もその一社です。同社は 2020 年より越境 EC 事業に本格的に進出しました。同社の営業マネージャーである方玉婵氏は次のように説明しています。「現在、当社のクロスボーダー事業は米国を中心としていながらも、同時に欧州市場も徐々に開拓しており、年間売上高は約 8,000 万人民币元にも達しています。当社は製造元として、この展示会を通じてより多くのバイヤーと接触したいと考えています。また、会場で開催される高品質フォーラムにも参加し、新たな海外展開のチャンスを発掘したいと考えています」

現在、越境 EC 業界は従来の低価格競争モデルから脱却し、ブランド化、コンプライアンス対応、スマート化への転換が必然の流れとなっています。今回の越境 EC 交易会は、プラットフォーム、産業クラスタ、サービス事業者、実体企業を結びつけることにより、生産と販売のマッチングチャンネルを円滑にするとともに、業界のアップグレードの方向性を示しています。各地の産業クラスタが持続的に力を発揮し、AI 技術が本格的に浸透していくつれ、中国の越境 EC は新たな成長の原動力を持ち続け、世界貿易の舞台においてより質の高い発展を遂げていくに違いありません。

【投資推進署、上半期の投資誘致額が 530 億香港ドル超に】



香港政府の投資推進署は、今年度上半期において、海外及び中国本土からの企業 413 社の香港への進出或いは事業拡大を支援しました。これにより、香港に対する外国直接投資が 530 億香港ドル超に達し、8,600 人以上の新規雇用創出が見込まれています。

同署は 6 月 25 日、海外及び中国本土企業の香港進出を歓迎する年次レセプションを開催し、香港のビジネス環境に対する企業の信頼と支援に感謝の意を表

すとともに、上半期の投資誘致実績を発表しました。レセプションには、行政長官の李家超氏が主賓として臨席しました。

李家超氏は挨拶の中で、香港の世界競争力ランキングが世界第 2 位に躍進したことは、香港の実力と可能性を如実に示すものであり、その成果は既に投資誘致の実績にも現れていると述べました。

李家超氏は、香港特区政府が昨年、中国本土企業の海外進出を支援する専門チームを設立し、北部都会区の開発が香港にさらなる機会をもたらすとして、投資推進署は、北部都会区の開発加速を全力で推進し、新たな発展の機会と可能性を絶えず引き出していくと述べました。

投資推進署によると、上半期に香港に進出した **413** 社のうち、**6** 割が中国本土企業であり、その他はヨーロッパやアジアなど様々な市場に分布しています。業種としては、イノベーション・テクノロジー、金融サービス、運輸、物流等多岐にわたっています。

同レセプションには、世界各国から **380** 社以上の企業代表が出席しました。出席した企業代表の中には、先般、行政長官の中央アジア訪問に同行し、現地との協力関係を強化するとともに人的ネットワークを拡大したことを挙げ、引き続き香港の強みを活かして事業を拡大していきたいと述べた方もいました。

鉱業グループの副総裁である廖建生氏は、同行グループが香港を国際的な金の全産業チェーン拠点としてハブ構築することを契機に、香港での金精製や金保管施設等を含む金産業チェーンの構築を積極的に模索しており、現在、香港にトレジャリーセンタープラットフォームを設立しており、その過程において香港は優れたサービスの提供し、人材面でも支援を行っている、と述べました。

イノベーション・テクノロジー企業の総裁である陳利氏は、香港のリモートセンシングを活用したデジタル都市建設に積極的に参加しており、香港を足がかりとしてグローバルにサービスを提供しています。また、時空間インテリジ

ェンスやデジタル経済に従事する者にとって、今後の香港の 5 カ年計画は自らの専門分野と深く合致しています。さらに、これらの技術を世界の様々な国に普及させたいと考えており、同社のスマートシティ・ソリューションが既に中央アジアにおいても導入が進められていると述べました。

その上で、陳氏は、香港の今後の発展はますます向上していくことを確信している、と述べました。

【参考資料】

- ・ [2026 年越境 EC 交易会、広州で開幕 1,000 社超が出展、越境 EC の新たなチャンスつかむ](#)
- ・ [投資推進署、上半期の投資誘致額が 530 億香港ドル超に](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、
右記の QR コードから登録をよろしくお願いいたします。
(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====

[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいりますので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所
担当:

香港：新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>

広州：Monica Tian/田 倩 <monica.tian@aoba.com.hk>

北京：Susan Zhao/趙 素艷 <susan.zhao@aoba.com.hk>

=====